

目的・概要

東京大学医科学研究所附属病院臍帯血・臍帯バンクは、治療や医学の発展を目指した研究のためのバイオバンクです。本バンクは採取医療機関（産婦人科）と連携して、臍帯血・臍帯および臍帯由来細胞等を系統的に資源化（バンキング）しています。研究用細胞等のソース、臨床用の細胞治療や創薬・製剤等のソースとして安定的に医療機関、製薬企業や研究機関等に提供することを目的および品質方針としています。本パンフレットは、研究用の試料提供の流れをご説明しています。臨床用に関しては、別途ご相談ください。

試料・書類の流れ

採取機関

臍帯血・臍帯・母体血

東京大学医科学研究所附属病院
臍帯血・臍帯バンク (IMSUT CORD)

臍帯血・臍帯由来細胞等

研究機関等
研究用試料

企業
開発・承認・市販化

治験・製造販売承認

医療機関等



ISO 9001
BUREAU VERITAS
Certification



国立大学法人東京大学
医科学研究所附属病院臍帯血・臍帯バンク
(IMSUT CORD)

TEL : 03-5449-5555

Web: <http://imsutcord.umin.jp/>

提供手続きに関する詳細は、
東京大学医科学研究所
附属病院臍帯血・臍帯バンク
のサイトをご覧ください。



国立大学法人

東京大学

医科学研究所附属病院

臍帯血・臍帯バンク

(IMSUT CORD)



研究用臍帯血・臍帯由来細胞等の提供手順

東大医科研臍帯血・臍帯バンクへの申請書式

提供試料の例



提供にあたり、必要な書類は下記の通りです。
臨床試験、創薬を含む臨床応用を目的とする利用の場合には別途ご相談ください。

書式等	※1 研究分担者	※2 非営利機関	※3 営利機関
様式1：ヒト臍帯血・臍帯および臍帯血・臍帯由来細胞等提供依頼書	○	○	○
様式2：研究概要書	○	○	○
様式3：「ヒト臍帯血・臍帯および臍帯血・臍帯由来細胞等」の提供にあたっての確認書	○	○	○
利用者所属機関の倫理審査委員会承認の写し	○	○	○
東大医科研臍帯血・臍帯バンク運営委員会審査	○	○	○
様式4：臍帯血・臍帯由来細胞の使用に関する同意書（MTA 契約）	非営利目的	○	○
	営利目的	-	○

※1：研究分担者とは、当バンクへ細胞を提供する研究者もしくは東京大学内の研究者を示します。
 ※2：非営利機関とは、大学及び国立試験研究機関（独立行政法人含む）、公益財団法人、医療法人、教育機関（専門学校等を含む）を示します。
 ※3：営利機関とは、民間企業、上記以外の研究機関を示します。なお、営利機関／非営利機関と営利機関との共同研究／非営利機関による営利機関からの委託研究の場合には、営利目的になります。

臍帯由来間葉系細胞（UC-MSC）

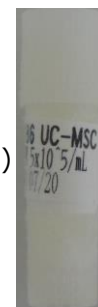
提供形態：凍結チューブ

細胞数： 5×10^5 個/チューブ

提供手数料：24,000 円（非営利機関）

47,000 円（営利機関）

臍帯由来間葉系細胞の初期培養（P1）細胞提供手数料です。細胞を増殖して P1 以降の細胞を提供する場合においても、培養方法や遺伝子導入に関わらず、元の P1 細胞の使用数で計算します。



臍帯血単核球/有核細胞（CB-MNC/NC）

提供形態：凍結チューブ

細胞数： 1×10^7 個/チューブ

提供手数料：3,100 円（非営利機関）

6,200 円（営利機関）

UC-MSC 利用者で、CB の利用を希望される方には同じドナーの CB が提供可能です。
 臍帯血単核球/有核細胞のみご希望の方は、NBRP 研究用ヒト臍帯血バンク事業 (<https://cell.brc.riken.jp/ja/hcb>) をご利用ください。当バンクから CB のみを提供ご希望の際はご相談ください（例外的な提供となり、提供手数料が異なります）。



※臍帯血・臍帯由来細胞等については母体血で B 型肝炎ウイルス、C 型肝炎ウイルス、HIV、HTLV-1、梅毒に関する検査がすべて陰性の試料を提供しますが、偽陰性の場合や未知なる感染症の可能性を完全に払しょくすることは不可能です。従って、細胞を取り扱う際には、試料には危険性があることを十分認識し、十分安全対策を以って使用して頂くことをお願いいたします。
 ※提供手数料は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。なお搬送費用は実費でのご負担をお願いいたします。

※詳しい提供の流れについては東大医科研臍帯血・臍帯バンクの HP をご覧ください。